

# ギニアグラス「うーまく」の栽培特性

「うーまく」は、ローズグラス「カタンボラ」と比較して、耐倒伏性および収量性に優れる

## 背景・目的

- ・本県における暖地型牧草の作付面積は、単年・永年利用を合わせるとローズグラスが最も多い(平成30年:3,861ha)
- ・ローズグラスは倒伏しやすく、大雨や台風等の気象リスクによる、さらなる生産不安定への懸念
- ・近年、暖地型牧草は多様な草種・品種が育成・導入されており、本県における栽培適応性の確認が必要
- ・飼料自給率の向上のために、収量性等に優れた飼料作物優良品種の選定・普及が必要

## 成果の内容

### ギニアグラス「うーまく」の特性

#### ローズグラス「カタンボラ」との比較

- ◎耐倒伏性に優れる
- ◎乾物収量は130~222%と多収である
- ◎TDN収量は125~212%と多収である



「うーまく」の草姿

表 「うーまく」の栽培特性(比較:「カタンボラ」)

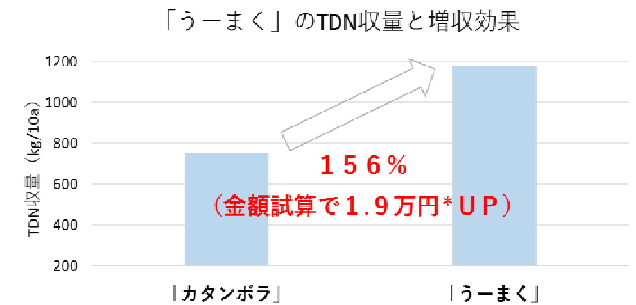
場所	品種	収穫日 <sup>1)</sup>				倒伏程度(1~9基) <sup>1)</sup>			草丈(cm) <sup>1)</sup>			乾物収量(kg/10a) <sup>1)</sup>				TDN含量 (乾物中%)	TDN収量 カタンボラ比	
		1番草	2番草	3番草	4番草	1番草	2番草	3番草	1番草	2番草	3番草	1番草	2番草	3番草	計			カタンボラ比
霧島市	うーまく					1.0	1.1	1.6	149	179	139	517.1	650.3	512.4	1,679.9 <sup>a,3)</sup>	130	60.8	125
	カタンボラ	5/18	7/27	9/4	10/25	3.7	5.2	1.0	136	135	110	537.6	425.6	325.9	1,289.1 <sup>b)</sup>	100	63.3	100
南さつま市	うーまく					1.0	1.0	1.0	166	186	147	719.6	820.7	465.2	2,005.5 <sup>a)</sup>	152	60.8	145
	カタンボラ	5/17	7/26	9/8	10/30	6.1	5.5	1.9	150	144	124	559.3	456.9	300.0	1,316.2 <sup>b)</sup>	100	63.8	100
与論町	うーまく					1.4	2.2	1.9	138	172	137	547.7	931.3	627.7	2,106.7 <sup>a)</sup>	222	61.5	212
	カタンボラ	5/13	7/27	9/15	11/11	1.7	3.7	1.1	90	115	101	142.5 <sup>2)</sup>	456.6	349.9	949.0 <sup>b)</sup>	100	64.3	100

注1) 3か年(2017~2019)の平均。刈取時の生育ステージ:「うーまく」出穂前、「カタンボラ」出穂期 2) 2017年は湿害と干ばつの影響があり、「カタンボラ」は特に生育不良であった  
3) 地域ごとのab異文字間に5%水準で有意差あり

◎草丈150cmを超えると機械に巻き込んだり、詰まったりと収穫・調製機械への負担も大きくなることから、草丈100cm~出穂前までに収穫する

## 期待される効果

耐倒伏性および収量性に優れることから、大雨や台風等の気象リスクに対応した自給飼料の安定確保が期待できる



注) TDN収量差を購入用飼料(輸入乾牧草)で補ったと仮定。  
「うーまく」のTDN収量は、3試験地平均で「カタンボラ」比156%。

「うーまく」は極晩生品種であることから雑草化リスクの低減が期待できる

○普及対象・範囲  
県内の肉用牛農家、乳用牛農家

鹿児島県農業開発総合センター  
企画環境飼料部草地飼料研究室